

2022年3月期
第1四半期
決算補足説明資料

2021年8月10日

地盤ネットホールディングス株式会社
(証券コード：6072 東証マザーズ)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	Q1	構成比	Q1	構成比	増減	増減率
売上高	482	100.0%	519	100.0%	+37	7.7%
売上総利益	204	42.3%	198	38.1%	△5	△2.9%
販管費	183	38.0%	205	39.6%	+22	12.1%
営業利益	20	4.3%	△7	△1.4%	△28	－%
経常利益	21	4.5%	△7	△1.5%	△29	－%
純利益	16	3.5%	△8	△1.7%	△25	－%

売上高：住宅サービスで買取再販を開始。BCPOも同期比で増加
 売上総利益：売上構成内容の変動が影響
 販管費：子会社の営業体制見直し（人員増等）による販管費増加
 純利益：主に販管費増加分、前年同期に比べ減少

2. サービス別売上高 (単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前年同期比	
	Q1	構成比	Q1	構成比	増減	増減率
地盤解析	196	40.6%	187	36.0%	△9	△4.6%
地盤調査	122	25.3%	126	24.2%	+3	3.2%
部分転圧工事	58	12.1%	56	10.9%	△1	△3.3%
BCPO	13	2.9%	45	8.8%	+32	231.2%
住宅関連	61	12.8%	87	16.9%	+25	41.5%
その他 ※	30	6.2%	16	3.2%	△13	△45.3%
合計	482	100.0%	519	100.0%	+37	7.7%

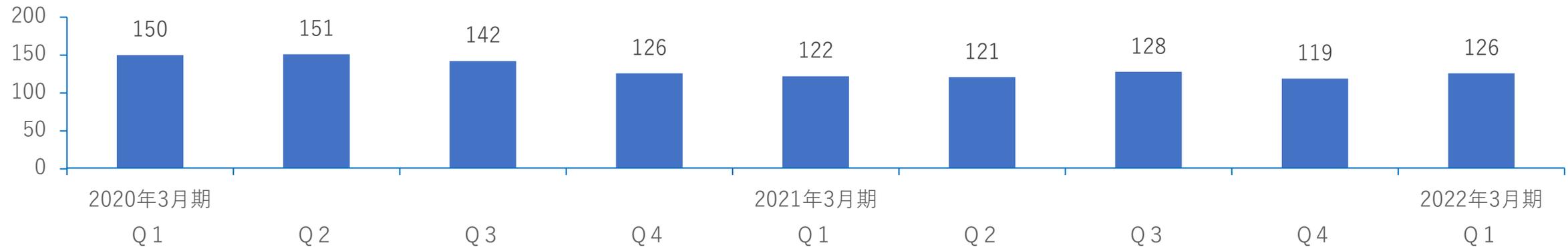
※その他：調査機器やFC加盟料・ロイヤリティ収入、地盤安心マップPRO等の売上

3. サービス別四半期別 売上高推移① (単位：百万円)

地盤解析サービス



地盤調査サービス



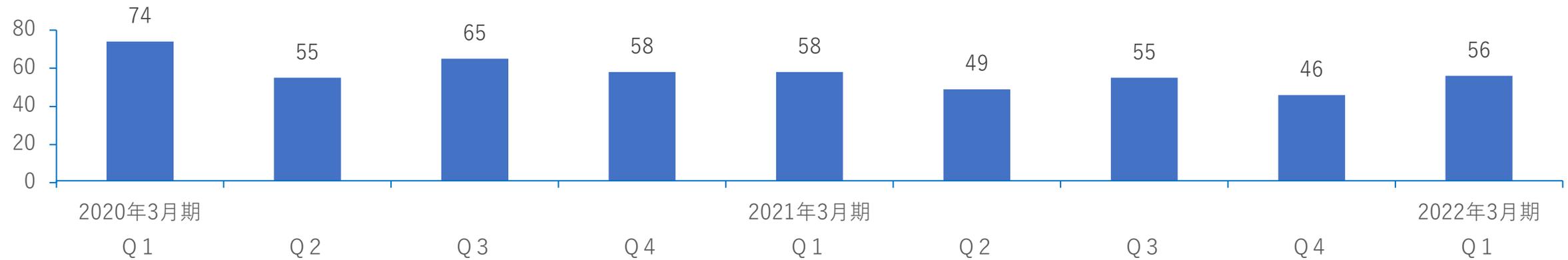
地盤解析サービス、地盤調査サービス

新設住宅着工戸数の減少に伴い減少傾向であったが、当Q1では同期比10.1%増。

当Q1は、営業体制の再構築中であり、実績に直結する部分は少ないが、今後の収益計上に寄与予定。

3. サービス別四半期別 売上高推移② (単位：百万円)

部分転圧工事サービス



BCPOサービス



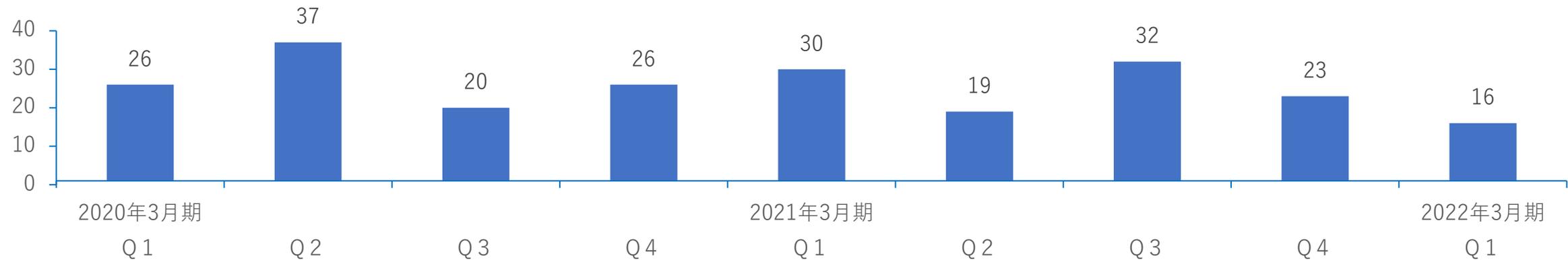
部分転圧工事：調査件数に対する転圧案件は、前Q1より若干低かったが、平均単価は改善し、前Q1と同程度の実績に。
BCPO：コロナ禍で需要は増えており、好調。生産管理体制を再整備中。

3. サービス別四半期別 売上高推移③ (単位：百万円)

住宅関連サービス



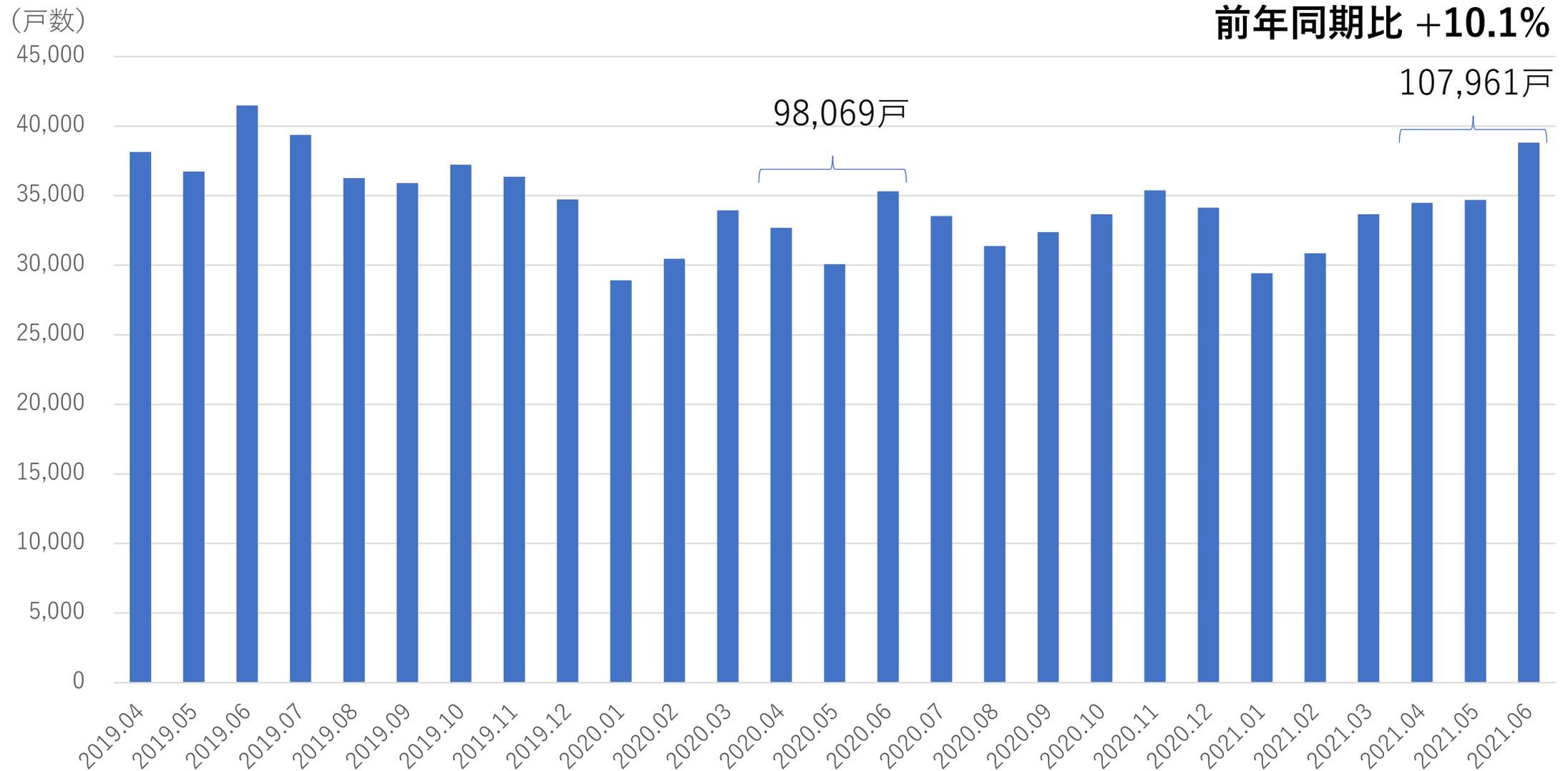
その他



住宅関連：買取再販を開始し、前年同期比で伸長。

その他：全国のネットワークはある程度構築できているので、FC加盟や調査機器販売がスポットで発生。

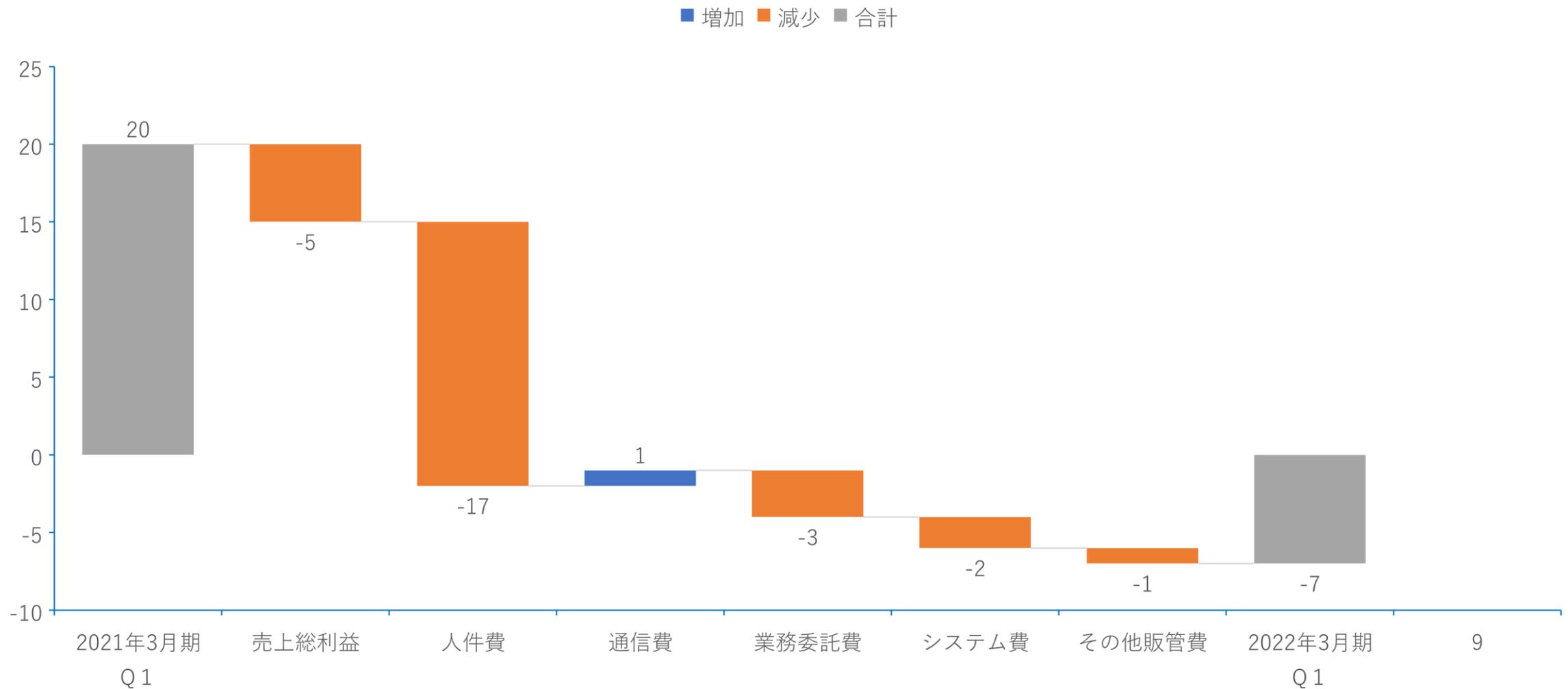
3. (参考資料) 新設住宅着工戸数 推移



出典：国土交通省「建築着工統計調査報告」

※当社グループの事業領域である持家、分譲住宅（一戸建て）を合算して、新設住宅着工戸数としております。

4. 営業利益 増減要因 (単位：百万円)



- 子会社の営業体制見直し等により、販管費22百万円増加。先行投資の色合いもあり、今後の収益計上に寄与予定。

5. 2022年3月期 第1四半期 連結貸借対照表 (単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期		前期末比	
	期末	構成比	Q1	構成比	増減	増減率
流動資産	1,573	91.6%	1,544	92.4%	△28	△1.8%
有形固定資産	24	1.4%	23	1.4%	△0	△1.4%
無形固定資産	38	2.2%	33	2.0%	△4	△12.5%
投資その他の資産	81	4.7%	70	4.2%	△10	△13.5%
固定資産計	143	8.4%	127	7.6%	△16	△11.2%
資産合計	1,717	100.0%	1,672	100.0%	△44	△2.6%
流動負債	269	15.7%	228	13.7%	△40	△15.0%
固定負債	170	9.9%	170	10.2%	—	—
負債合計	439	25.6%	398	23.9%	△40	△9.2%
株主資本	1,283	74.7%	1,274	76.2%	△8	△1.1%
その他の包括利益累計額	△5	△0.3%	△0	△0.0%	+4	—
純資産合計	1,278	74.4%	1,273	76.2%	△4	△0.3%
負債・純資産合計	1,717	100.0%	1,672	100.0%	△44	△2.6%

流動資産：現金及び預金+167百万円、販売用不動産△66百万円、未収入金△112百万円、前払費用△14百万円

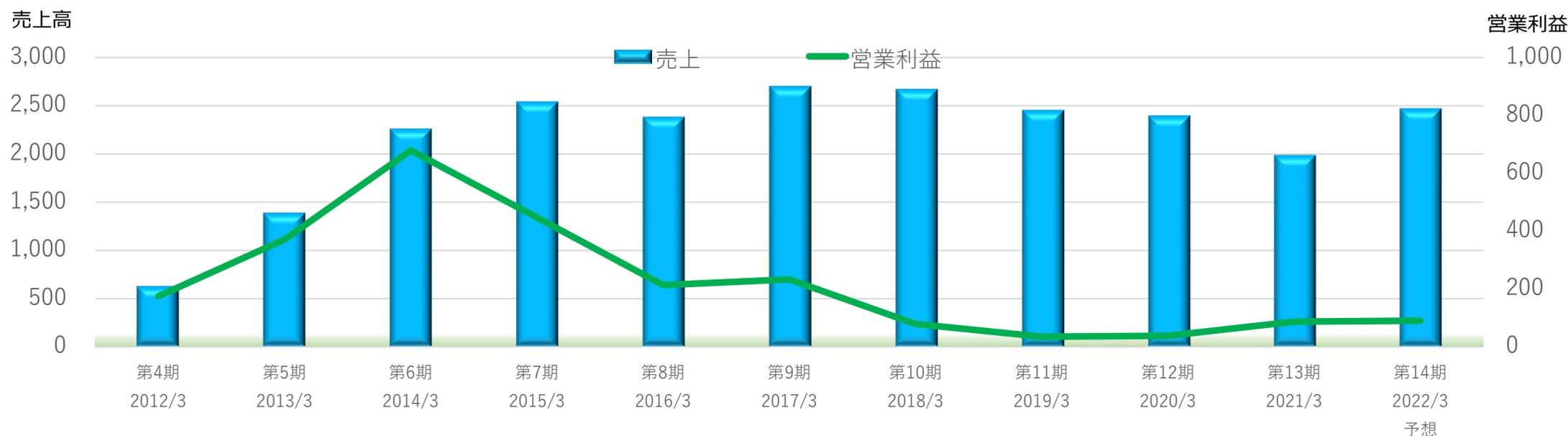
固定資産：長期貸付金△8百万円

流動負債：未成工事受入金+35百万円、未払金△52百万円

純資産：当期純損失の計上△8百万円

6. 直近10期間の連結業績推移 と 2022年3月期 通期業績予想 (単位：百万円)

	第4期 2012/3	第5期 2013/3	第6期 2014/3	第7期 2015/3	第8期 2016/3	第9期 2017/3	第10期 2018/3	第11期 2019/3	第12期 2020/3	第13期 2021/3	第14期 2022/3 予想
売上高	630	1,390	2,262	2,542	2,384	2,704	2,673	2,455	2,398	1,989	2,471
営業利益	27	371	679	447	213	233	79	35	38	87	90
経常利益	31	358	680	446	215	234	74	34	44	91	93
純利益	19	214	426	279	131	176	67	17	△108	△33	70



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が2021年8月10日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。